

かほだより

R2-12号
R3. 2. 25

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL：0265-72-2782, 090-5444-0970
Fax：0265-72-2765
E-mail：inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地：伊那市西町 5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX：0265-76-8086

導入牛から BVD-PI 牛が摘発されました！

R2.6 定期バルク乳検査により県外導入牛 1頭を BVD-PI と確定しました。

BVD-PI とは？

- ✓牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)感染による病気です（下痢や呼吸器症状）
- ✓抗体を持っていない妊娠牛が感染すると、胎仔は持続感染牛（PI 牛）として生まれ 生涯にわたり BVD ウイルスを排泄し続けます
- ✓PI 牛は虚弱であることが多く生産性は低く、PI 牛の産仔は必ず PI 牛になってしまう

対策・対応

対策

- ✓出生子牛・導入牛検査による PI 牛摘発、ワクチン接種等
- ✓酪農家（定期バルク乳スクリーニング検査） ✓肉牛繁殖・一貫・肥育（農場内全頭検査）

対応

県の酪農生産性向上対策事業で年 2 回実施！

- ✓農場内全頭検査：PI 牛の摘発・淘汰により農場内での感染拡大リスク低減
- ✓新生子牛の検査：最後の PI 牛を淘汰してから約 10 ヶ月検査（血液検査 or 耳片検査）
- ✓疫学関連農場：預託牛や ET 産子、妊娠牛出荷先などへの情報提供や検査

耳片検査とは

- ✓BVDV 検査で血液検査と同様に扱うことができ、初乳の影響も受けません
- ✓耳標装着器とほぼ同じで農家さんでも簡単に取り扱いえます
- ✓耳片は専門容器にて 1 週間程度、冷蔵保存が可能です
- ✓侵襲性が低く、牛への負担は血液検査と大差ありません



※最近の県内 PI 牛摘発は県外導入によるものです

導入時にヨーネ病(JD)、牛伝染性リンパ腫(BIL)、牛ウイルス性下痢(BVD)の検査を実施し、農場への侵入を防ぎましょう

※不明な点や詳細が知りたい方は伊那家畜保健衛生所までご連絡ください。